

単位認定インターンシップに行ってきました (File.7)

授業科目名:世界教養プログラム/就業体験

派遣先企業・機関名:独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)

配属部署:デジタルマーケティング部プラットフォームビジネス課

研修期間:2021年9月1日~2021年9月21日(21日間)

国際日本学部 国際日本学科 2年 工藤 優真



* JETROとは

私が今回勤務させていただいたJETROは、経済産業省のもとに属する独立行政法人の一つです。輸出支援や日本の中堅・中小企業の海外展開、海外地域の調査・研究を主に担っており、海外志向の強い外大生の皆さんには特に興味関心のある分野かもしれません。公的機関としての認識が色濃く持たれがちですが、「公務員と民間の間」という特殊な立ち位置にあるからこそその面白さもあり、私が描いていたお堅いイメージを良い意味で裏切ってくれた、そんな職場環境でした。
<https://www.jetro.go.jp/>

■参加した理由

今回単位認定インターンシップに参加した大きな理由は、約3週間企業の職場という環境に身を置くことで、アルバイトでは感じられない「働く」経験を得たいと思ったからです。インターンシップと言っても様々な種類があり、1dayインターンシップなどもよく耳にしますが、結局職場の雰囲気や社会人としての自分の強みや伸びしろを知るには、一定期間その環境で実際に勤務することが最も有効的だと思います。まさに“百聞は一見に如かず”です。また、現時点で自分の「将来やりたいこと」はあるものの、それはあくまで自分の過去の経験からしか考えることができない、というキャリアデザイン論での学びも今回の参加を後押ししてくれました。派遣先も重要ではありますが、就職活動とは切り離れたプログラムだからこそ、幅広い職種での社会経験を積み、将来持てる選択肢を増やしたいという想いが強かったように感じます。

■インターンシップの内容

JETRO東京本部のビジネスマーケティング部プラットフォームビジネス課にて勤務させていただきました。コロナ禍ということもあり、オフィスに出勤したのは計4回、それ以外は基本的に在宅ワークでした。日常業務としては、海外で日本の商品を扱っているもしくは扱いたいと考えているバイヤーさんの希望に沿って、



適切な日本産品や企業を発掘する作業、またJETRO海外事務所との打ち合わせへの同席等を行いました。

また長期的なタスクとしては、JETROが運営するサイトのWeb分析を行い、それに基づいたサイト改善の提案を最終プレゼンテーションとして実施しました。

JETROの仕事として皆さんが想像するものは様々だと思いますが、実際に勤務してみると実は見えていない重要な業務が多く見つけられたと同時に、働き方についての視野が格段に広がりました。

■記憶に残るエピソード

Web分析に基づいたサイト改善案の中間発表及び最終発表にて頂いたアドバイスやフィードバックが印象的でした。はじめに自分たちが作成した資料は、データや事実を述べることに終始していたのですが、中間発表にてプレゼンの目的は最終的に相手を納得させて行動に移してもらうことであり、自分たちの伝えたいメッセージが目でわかる資料にした方が良い、というアドバイスをいただきました。



学生のプレゼンテーションでは最小限の文字数での情報伝達に重きが置かれる傾向が強いです。社会人としてはタスクの最終的な目標とその達成を意識して取り組むことが求められます。同じ資料作成という過程においても、学生と社会人という立場の違いで求められるものが異なるということを実感しました。今後、場面に応じた資料作成のスキルを磨いていけたらと思っています。

■自分の気づき、学んだこと、これからどう活かす

一番の学びは、自分の得意分野や経験の活かし方は無限であるということです。多くの企業や団体では何か一つの目標や社会の中で果たす軸となる役割がありその部分ばかりが広く知られている一方で、軸から枝分かれた小さくかつ重要な業務はなかなか見えてきません。今回の経験を通して自分が企業や機関に対して持つイメージは本来の業務の一部でしかないということを実感しました。

一つの目標のもとに様々な業務と機会が存在するからこそ、自分の強みや経験を生かす手段は想像以上に多いと思います。自分の強みにあった場所を選ぶ、のではなく置かれた場所で如何に自分の強みを生かすか、という視点、そして過去の経験がどう繋がるか分からないからこそ多方面に挑戦する気持ちを大切にしていきたいです。

■学生への呼びかけ(インターンシップのすすめ)

インターンシップと聞くと「就活」の文字が頭に浮かぶ方が多いかもしれませんが、掲げる目標によってインターンシップの活用方法は就活だけには留まりません。「現時点で興味関心のある業種があるけど本当にやりを感じられるかな」「働いてどんな感じだろう」「社会人として求められるものって何だろう」「何となく大学生活過ぎてきたけど今後何を勉強したらよいだろう」…現時点でこのような疑問を抱えている方も、インターンシップ経験を通して何か答えが見つかるかもしれません。学年を問わず興味のある方はぜひインターンシップを有効活用してみてください。



■感謝のこぼれ

コロナ禍で例年よりも各方面で制限が設けられている中、今回のような貴重な機会を提供して下さった先生方、そして限られた出勤機会の中で座学だけでは得ることのできない興味深い経験と交流をさせて下さった派遣先の皆様へ感謝申し上げます。大学2年生の今このプログラムに参加できたことに大いに意義があると感じています。今回の学びを今後の学業やキャリア選択に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。